

ひだか HIDAKA GIKAI DAYORI 議会だより

第162号
平成28年5月31日



清水工業団地より望む役場周辺

組織が変わりました	2~4P
第1回臨時会	4~5P
平成28年度予算	6~7P
行政報告	6~9P
審議したこと・決まったこと・請願・陳情・ 議員提出議案・私の意思表示	10~17P
委員会活動	18~19P
一般質問に5氏が立つ	20~24P
議会日誌	25~26P

組織が変わりました

第1回日高村議会臨時会が4月19日に開催され、正副議長・各常任委員会委員等を選任、新しい議会組織となった。

ご挨拶



西川龍子副議長



尾崎政廣議長

このたび私ども同僚議員の推挙をいただきまして引き続き日高村議会議長・副議長に就任することになりました。

誠に身に余る光栄でありまして、衷心より感謝申し上げますとともに、この重責をあらためて痛感し身の引き締まる思いでございます。

今後におきましても、村民の皆様、議員各位のご意見等に傾聴し公平、公正で円滑な議会運営に努め、日高村の発展と村民福祉の増進につなげてゆく決意でございます。

今後とも、皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、村民の皆様のお祈り、ご健勝とご多幸を祈念しまして就任の挨拶いたします。

新しい委員会です

(◎委員長○副委員長)

総務常任委員会

- ◎森下雅文 ○森下芳文
- 尾崎政廣 野村重夫
- 横山泰昌

経済建設厚生常任委員会

- ◎壬生豊秀 ○矢野孝明
- 西川龍子 岡本光男
- 戸梶章



総務常任委員会委員と議長



経済建設厚生常任委員会委員と議長



議会運営委員会委員と議長

議会運営委員会

- ◎森下雅文 ○壬生豊秀
- 西川龍子 横山泰昌
- 森下芳文

議会広報発行調査特別委員会

- ◎西川龍子 ○戸梶 章
- 岡本光男 野村重夫
- 森下芳文



議会広報発行調査特別委員会委員と議長

日高村治水対策特別委員会

- ◎戸梶 章 ○森下雅文
- 壬生豊秀 森下芳文
- 矢野孝明

日高村振興対策特別委員会

- ◎岡本光男 ○壬生豊秀
- 森下雅文 横山泰昌
- 戸梶 章



日高村治水対策特別委員会委員と議長



日高村振興対策特別委員会委員と議長

緊急雇用創出臨時特例基金
事業調査特別委員会

- ◎森下雅文 ○森下芳文
- 西川龍子 壬生豊秀
- 戸梶 章



緊急雇用創出臨時特例基金事業調査特別委員会委員と議長

農業委員会委員(議会推薦)

- 壬生豊秀 他1(村内
の農業に従事する女性)

国保運営協議会

- 西川龍子 野村重夫
- 森下芳文 矢野孝明

仁淀消防組合議会

- 岡本光男 横山泰昌
- 矢野孝明

仁淀川下流衛生事務組合議

- 森下雅文 横山泰昌

日高村・佐川町学校組合議

- 尾崎政廣 西川龍子

仁淀川広域市町村圏事務組

- 合議会
- 岡本光男 矢野孝明

高知中央西部焼却処理事務

- 組合議会
- 西川龍子 戸梶 章

第1回
臨時会

4月19日第1回臨時会が
開催され、承認10件、議案
3件が可決された。

承認

◎日高村課設置条例の一部
を改正する条例の専決処
分の承認を求めることに
ついて

日高村課設置条例の一部を
改正するもの。

◎日高村非常勤の特別職の
職員等の報酬及び費用弁
償に関する条例の一部を
改正する条例の専決処分
の承認を求めることにつ
いて

質疑

問 集落支援員の人数並び
に活動内容について聞く。

答 支援員は1人であり、
村内各集落の状況把握、
集落点検や行政との話し
合いの場などの促進を図
る。

◎村税条例等の一部を改正
する条例の専決処分の承
認を求めることについて

質疑

問 固定資産税における再
生可能エネルギーの発電
設備等に係る特例措置に
ついて聞く。

答 固定資産税償却資産の
減免のことであり、自家
消費型認定太陽光発電設
備に限り特定措置を2年
間延長するもの。

◎固定資産評価審査委員会
条例の一部を改正する条
例の一部を改正する条例
の専決処分の承認を求め
ることについて

◎日高村国民健康保険税率
例の一部を改正する条例
の専決処分の承認を求め
ることについて

◎専決処分の承認を求めることについて(平成27年度日高村一般会計補正予算(第7号))

歳入歳出それぞれ102万2千円を追加し、歳入歳出予算総額それぞれ41億4千987万6千円とするもの。

◎専決処分の承認を求めることについて(平成27年度日高村一般会計補正予算(第8号))

歳入歳出それぞれ2千157万8千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ41億7千145万4千円とするもの。

◎専決処分の承認を求めることについて(平成27年度日高村国民健康保険特別会計補正予算(第5号))

歳入歳出それぞれ10万5千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ8億4千66万8千円とするもの。

◎専決処分の承認を求めることについて(平成27年度日高村介護保険特別会計補正予算(第5号))

歳入歳出それぞれ11万4千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ6億9千744万7千円とするもの。

答 財政調整基金繰入を1千円補正しているが、説明資料には記載をしていないためである。

◎専決処分の承認を求めることについて(平成27年度日高村簡易水道特別会計補正予算(第6号))

歳入歳出それぞれ58万2千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ1億6千704万1千円とするもの。

◎専決処分の承認を求めることについて(平成27年度日高村介護保険特別会計補正予算(第5号))

歳入歳出それぞれ11万4千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ6億9千744万7千円とするもの。

問 歳入歳出額が違っているが。

答 財政調整基金繰入を1千円補正しているが、説明資料には記載をしていないためである。

問 歳入歳出額が違っているが。

議案

◎相互に関連する河川工事及び道路工事により必要となる橋梁の改築に関する平成28年度協定について

質疑

問 今回の県、村の負担割合を聞く。

答 全体協定は3回変更しているが、いずれも県が15%、村が85%となっている。

問 今回の協定について経緯を踏まえれば、県の負担割合の増を村として要望すべきだと思うが、今回の経緯はどうか。

答 今回の平成28年度協定の締結にあたっては、工事が中断しその対策の検討に日数を要しており、この間に村の負担軽減の要望は行った。

問 要望をした結果として県15%、村85%となったのか

か確認をしたい。

答 最終的に県15%、村85%の負担割合を維持することになった。

問 今年県中央西土木事務所より説明を受け、要因が確定できない中、さまざまな検討がされ、平成28年度は13本の鋼管杭を打つこととなった予算ということか。

答 鋼管杭を右岸側8本、左岸側5本の増し打ちをする対策工事費となっている。

問 地元自治会に説明を行う計画があるとお聞きするがどうか。

答 明日、田福自治会と長崎自治会の方々に、国交省より放水トンネルの關係についての説明会を予定しており、本日の審議結果、決定を受けて経緯について説明させていただきます。

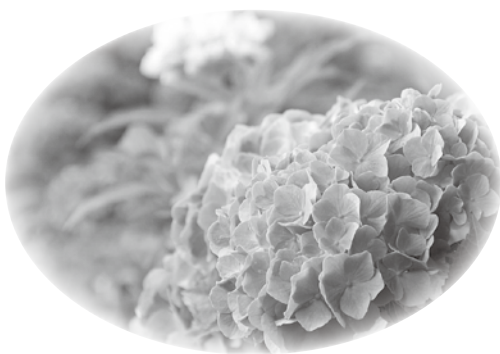
◎平成28年度日高村一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ586万5千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ37億8千

250万5千円とするもの。

◎平成28年度日高村介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ63万6千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ6億9千344万円とするもの。



スタート(一般会計)特別会計可決

単位：千円

農林水産業費	労働費	衛生費	民生費	総務費	議会費	一般会計
1億1,826万	992万6	2億3,449万6	8億5,858万4	5億3,116万5	6,382万7	平成27年度予算額34億2,326万9
1億9,722万2	1	3億8,456万4	8億7,661万3	6億9,420万2	5,944万7	平成28年度予算額37億7,664万
村の駅ひだか運営事業 園芸ハウス整備事業費補助金 林道維持費・緊急間伐総合支 援事業費補助金等		感染症予防費・母子衛生費 環境衛生費・廃棄物処理費 し尿処理費等	社会福祉施設費 老人福祉費・障害者福祉費 福祉医療費・保育所運営費 児童福祉費等・国民年金費等	広域的地域情報ネットワーク 基盤整備事業 デマンドバス運行委託料等	議会だより印刷製本 議会運営費等	

行政報告(要旨)



戸梶眞幸村長

日高村成人式 挙行される

1月10日、成人式が行われ、50人の新成人を迎えることができた。新成人の皆様には、心よりお祝いを申し上げますとともに、より村を理解してもらいたいという思いから記念品に日高の特産品セツトを贈りました。

新成人代表より「日高村の伝統や人と人とのつながりを大切に守り、山、川など美しい自然や人の温かさなど日高の魅力を世界に向けて発信していきたいです」と力強いメッセージをいただいた。大変心強く嬉しく感じた。これからの日高村

を担っていただく皆様の、今後の活躍と健勝をご祈念申し上げます。

第6回 日高村生涯学習 フェスタ開催される

2月13日、14日に「日高で働き・ワクワク暮らし・安全な生活を考える」をテーマに開催された。「村民大学」では、村内企業2社による企業の取り組みの紹介があり、日高村から全国へ、そして世界へと産業振興に努めている話が伺えた。

また、ひだかdeおきやくには、80人の参加者があり、日高村の懐かしい映像を見ながら楽しい時を過ごすことができた。

仁淀川中央清掃 事務組合の解散

仁淀川中央清掃事務組合は、昭和49年に日高村と伊野町で同組合を設置し、昭和51年度から可燃ごみの焼却やビン・缶・金物類及び有害資源ごみの中間処理等を行ってきたが、平成13年から土佐市北原クリーンセンターでの可燃ごみの焼却を開始したことにより、現在、同組合ではビン・缶・金物類及び有害資源ごみの中間処理等を行っている。

施設も大変老朽化し、また、現在使用していない焼却施設等の解体及び撤去も必要であることから、平成28年3月31日をもって同組合を解散する関連議案を今議会へ提出している。これに伴い組合で中間処理を行っていたビン・缶の処理については、12月議会で議決をいただいたとおり、本年1月19日に「土佐市と日高村との間の資源物の処理に関する事務の委託に関する

日高村56億円で

会計別の予算額 (単位：千円)	予備費	公債費	災害復旧費	教育費	消防費	土木費	商工費
特別会計							
国民健康保険 8億1,660万	300万	4億501万9	1万2	5億7,119万	1億6,767万2	4億5,499万	512万8
簡易水道 2億1,965万6	300万	3億9,425万	1万3	3億1,323万8	3億2,489万1	5億1,983万4	936万5
住宅新築資金等 1,091万4			長期償還金・元利	日高村・佐川町学校組合費 スクールバス運営費 国際交流員招致事業費 図書館費等	仁淀消防組合分担金 非常備消防費・災害対策費 高知県地域防災対策総合事業等	道路維持費・河川管理費 道路橋梁新設改良費 砂防費・治水対策費 交通安全施設整備費等	企業誘致活性化補助金・パンフレット等作成委託料・地域の物流等支援事業委託料等
介護保険 6億9,280万4			農林水産施設災害復旧費				
後期高齢者医療 7,613万8							
計 18億1,611万2							

平成27年度 繰越明許費

- 総合行政情報システム事業
- 地方振興総務費
- オムライス・ピザ街道事業
(地方創生加速化)
- 企画広告費
(地方創生加速化)
- 移住促進事業
(地方創生加速化)
- 特産品開発事業
(地方創生加速化)
- 企画振興費
(地方創生加速化)
- 臨時福祉給付金等給付事業
- 工業再配置促進費
- 県工事負担金
- 社会資本整備総合交付金事業
- 防災安全交付金事業
- 急傾斜地崩壊対策事業
- 治水対策費
- 住宅耐震対策事業
- 設備消防費
- 地域防災事業
- 図書館建設事業

る協議書」を締結し、1月22日付で高知県知事に届けを行った。

本年4月1日からピン・缶の処理を土佐市に委託することが決定した。これにより、ごみの収集方法が一部変更となるため現在広報による周知を図っている。

なお、組合が行っていた金物類及び有害資源ごみの収集運搬処理と焼却灰の運搬については、村内業者に委託実施する予定である。



解散した仁淀川中央清掃事務組合

日高まるごと イタリアン プロジェクト

国の平成27年度補正予算で、地方創生加速化交付金事業が実施されることになり、仁淀ブルー観光協議会で実施する広域版の実施計画「仁淀ブルーを活用したDMO観光地域づくりの連携事業」とオムライス街道のさらなる進化と特産のトマトを活かした村づくりを進めるため「食」「健康」「雇用」をキーワードに農工商関係者、NPO法人、企業など多様な関係者と連携して取り組む日高村単独の実施計画「日高まるごとイタリアンプロジェクト」をセットで国へ申請しており、今議会に補正予算を計上している。

戸梶川・日下川の 一斉清掃

2月21日、雨天により2度の延期となっていた戸梶川・日下川の一斉清掃が実



戸梶川・日下川一斉清掃

施された。10カ所の集合場所に約160人の方々が参加してください、2トン車12台のごみを収集することができた。この取り組みは一昨年の大水害後に、加茂地区の有志の方々が、下流域へごみを流して迷惑をかけてはいけないと何日もかけて日下川のごみ収集を実施していたことが、発端となり今回計画をしたところである。当日は多くの村民はもとより、国土交通省

高知河川国道事務所や県の中央西土木事務所や中央西福祉事務所、環境対策課などの方々も多数参加をいただいた。
午後には、仁淀川シンポジウムも開催され能津小学校の仁淀川体験等が堂々と発表され、その内容に参加者から感動の声が多く上がり、「川」について考える良い機会となる一日であった。

錦山観光開発株式会社と覚書を締結

2月29日、錦山観光開発株式会社と覚書を締結した。村内の流域治水事業の推進に当たって、工事残土の処理場の確保や整備、処



錦山観光開発(株)と覚書を締結

理場への進入路の改良や国道、県道、村道の迂回路また避難道路としての道路整備などについての覚書であり、これにより村内の総合防災力の強化が図れる。

江尻地区親水公園 の計画変更

江尻地区に計画しております親水公園は、地元協議により整備面積を縮小することとした。これにより当初計画していたパークゴルフ場整備は、現段階では断念せざるを得ない状況となったが、今後のワークシヨップ等での意見をとりまとめ3月末までに整備計画案を策定する。

治水事業関係の 工事着手

平成28年度は、国土交通省においては、放水ルート決定後、呑口部の用地買収、工所用仮設道路等の工事着手を予定している。

高知県においては、日下川調整池中堤整備や新たに整備する残土処理場における調整池等の工事に着手する予定となっている。

また、村においては、局的に低地部にある住家の床上浸水対策についての事

業採択に向けた取り組みや総合治水条例制定に向けた準備を進める。

地方創生 総合戦略計画

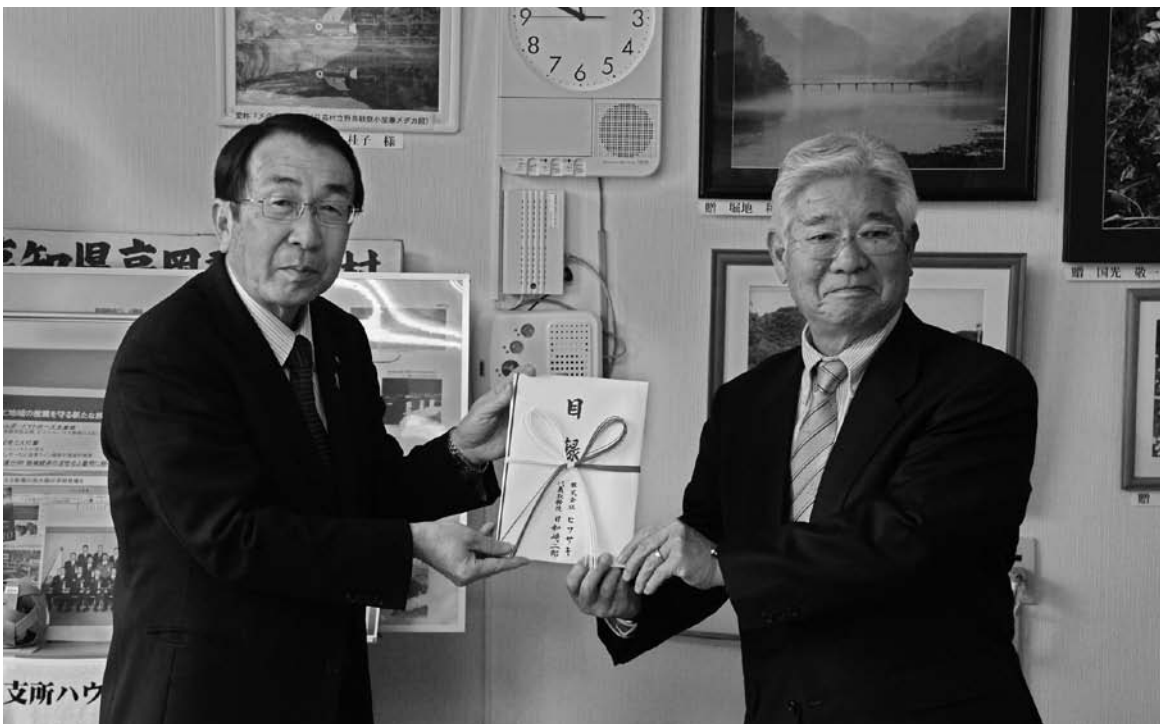
地方創生総合戦略計画は、最終の調整を行っており、議員の皆様にも意見をいただき年度末までに策定予定である。

また、第5次総合振興計画の後期基本計画についても、年度末に提示できると考えている。

ポータブルLPガス 発電機を寄贈される

株式会社ヒワサキ様より地域社会貢献活動の一環として、ポータブルLPガス発電機の寄贈があった。ガス発電機は、燃料劣化が少なく、燃料の長期保管後でもすぐに始動ができる。キャブ掃除や給油の手間がなくメンテナンスが簡単。長時間運転が可能であるなどの利点があるとのこと

だ。災害時等に有効に活用させていただきます。心から感謝しお礼を申し上げます。



(株)ヒワサキ様より「ポータブルLPガス」の寄贈

産業振興計画賞を 受賞

第30回高知県地場産業大賞において、過去2番目に多い応募60組の中から16組が入賞するなか「日高村オムライス街道推進プロジェクト」が「産業振興計画賞」という2番目に大きな賞を受賞した。今回の受賞は、関係機関が一体となって取り組んできたことが、評価された結果と考える。この受賞を励みに「オムライス街道」の更なる発展と継続的な取り組みにより、日高村を大いに発信していきたい。

平成28年第1回定例会

審議したこと

決まったこと

H28.3.3~3.9

3月議会では、同意案が1件、条例関係が19件、予算関係が12件、議員提出議案が3件、その他が7件、請願・陳情が2件の44件が決まった。

人事

◎固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて、同意とした。

氏名 川村 正仁
住所 いの町天王北

生年月日 昭和33年12月1日
4-2-7

条例

◎日高村行政不服審査会条例

行政不服審査法の全部改正により不服申し立ての手続きが見直され、日高村行政不服審査会を設置するとともに、同審査会の組織及び運営に関し必要な事項を定めるもの。

◎行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

行政不服審査法の施行に伴い、村税条例・固定資産

評価審査委員会条例・日高村手数料条例・日高村個人情報保護条例のそれぞれを整備し、一部改正するもの。

質疑

問 第9条1項の内容を確認したい。

答 第4条または他の法律もしくは、条例の規定により審査請求がされた行政庁(第14条の規定により引き継ぎを受けた行政庁を含む以下「審査庁という」)は審査庁に属する職員(第17条に規定する名簿を作成した場合に当該名簿に記載されている者)のうちから第3節に規定する審査手続き(この節に規定する手続きを含む)を行う者を指名するとともにその旨を審査請求人及び処分庁等に通告しなければならぬ。ただし次の各号のいずれかに掲げる機関がある場合もしくは条例に基づく処分について条例に特別の定めがある場合または、第24条の規定によ

り当該審査請求を却下する場合は、この限りでないというところで、他の審査会で委員さんを設置されている場合は、そちらの方で審議をするという内容のものである。

◎日高村人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部改正する法律の施行に伴う改正により、職員の退職管理の状況等の報告・審査請求(不服申し立て)文言の修正等定めるもの。

◎職員の勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う改正により、引用箇所に係る改正、学校教育法等の一部を改正する法律により、現行の小中学校に加え、小学校から中学校までの義務教育を一環として行う「義務教育学校」が新たな学校の種

類として規定されたため改正するもの。

◎日高村非常勤の特別職の職員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

行政不服審査法の全部改正により、行政不服審査会が設置されることに伴い発生する報酬、鳥獣被害防止特措法に基づき、被害防止計画に基づく捕獲、防護柵の設置といった実践的活動を担うため、鳥獣被害対策実施隊を設置するものである。設置することにより、銃刀法の技能講習の免除、狩猟税の軽減措置、村が負担する活動経費に対する特別交付税措置などの優遇措置を受けることができるもの。

◎一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

例給俸給表の改正並びに地方公務員法及び地方行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴い改正するもの。

◎一般職の職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法及び地方行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴い改正するもの。

◎日高村ふるさとづくり基金条例の一部を改正する条例

事業の終了に伴い廃止するもの。

◎日高村臨時財政特別債償還基金条例を廃止する条例

事業終了により廃止するもの。

◎日高村野菜安定基金条例を廃止する条例

事業終了により廃止するもの。

◎日高村廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例

平成28年3月31日をもって、仁淀川中央清掃事務組合が解散することに伴い条例の一部を改正するもの。

◎日高村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例

指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の公布に伴い改正するもの。

質疑

問 運営推進会議のメンバーは、どのような方を想定しているか。
答 事業主、利用者そして、利用者の家族等を考えている。

◎日高村介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例

指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に

関する基準の一部を改正する省令の公布に伴い改正するもの。

◎村の駅ひだかの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

村の駅ひだかの施設利用料金について、不公平感をなくした料金体系とするとともに、屋内常設の有人スペース利用料金の経費負担の明確化を図るため改正するもの。

質疑

問 施設の利用料金を売上額で算定するという点について、自主申告だけで大丈夫か。相手を信頼するだけでなく、不正がおきないようなチェックのあり方を考えているか。
答 今までの運営の実態もあり、一定の信用という中で行っていただくことが中心になると思う。申告内容が現実とそぐわないかについては、村の駅で行っていただくかたち

になるかと思う。

◎日高村多目的公園敷地の造成土受け入れ及び管理に関する条例を廃止する条例

残土受け入れ終了により廃止するもの。

◎日高村営住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

12月分住宅使用料金の口座振替の再振替事務に支障があるため一部を改正するもの。

◎日高村給水条例の一部を改正する条例

11月分の使用料金の口座振替の再振替事務に支障があるため一部を改正するもの。

◎仁淀川中央清掃事務組合の解散について

◎仁淀川中央清掃事務組合の解散に伴う財産処分について

◎高知県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び高知県

市町村総合事務組合規約の変更について

◎高知県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び高知県市町村総合事務組合規約の変更に伴う財産処分について

前記4議案は、平成28年3月31日をもって、仁淀川中央清掃事務組合が解散することに伴い、同組合の解散及び財産処分並びに同組合が加入していた高知県市町村総合事務組合で必要となる諸手続きについて、議決を求めるもの。

◎仁淀川中央清掃事務組合施設解体等に関する基金条例

仁淀川中央清掃事務組合の解散に伴う財産処分に関する協議書に基づき、組合施設解体撤去等の業務に必要な財源に充てるための基金条例を制定するもの。

◎日高村環境基金条例

日高村の良好な生活環境の確保及び保全に係る事業に必要な財源に充てるため

制定するもの。

予 算

(△印は減額)

◎平成27年度日高村一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出それぞれ3億2千31万6千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ41億4千885万4千円とするもの。

質疑

問 オムライス・ピザ街道

事業は、これまでのオムライスの店舗で行うのか。そしてピザ窯が必要となるが、設備に対する補助はどのようになるのか。また、特産品の開発事業はどのような方法でやるのか。サイクリングコース看板等設置委託料とあるが、コースはどのようにに設定しているか。

答 現在のオムライス街道は、11店舗で取り組んでいる。今回新たにピザと

いうかたちで協力いただける店舗を募集するということで、オムライス街道の店舗にも声掛けをし、新たに取り組んでいただけるようにしたい。ピザ窯といった設備投資も必要となるので、一定の補助をすることも考えている。

そして、特産品の開発事業については、500万円の予算計上をしている。

内容は、団体等あるいは店舗等がアドバイザーを雇い新たな開発をする事業に対して補助をする方法を考えているが、色々なケースがあるかと想定されるので、今後検討をする部分もある。

また、サイクリングコースの件は、高知県が県内にサイクリングコースを設置し、県内の観光振興を図る計画であり、村にコースの設置を要望している。能津地区の仁淀川屋形船周辺の県道、沈下橋、そして、日下の方では村の駅、調整池、猿田洞、小村神社を回る

ようなコースを考えており、自転車購入費、看板設置等の予算を計上している。

問 2つのサイクリング

コースを設置するということであるが、設定は村がするのか。近年自転車の安全対策が言われるが、心配はないか。

ブランド化プロモーション映像作成委託料等の予算が計上されているが、内容は、

特産品の開発事業実施主体について、内容を詳しく。

そして、新聞に掲載された緊急雇用創出臨時特例基金事業の補助金返還について、村民からお叱りも受けたが、523万3千円を返還することとことだが、補助事業にそぐわないのは、これだけなのか。そして、新聞記事を読んだ感じでは、本来車の洗車という趣旨で、2千数百万円の予算を組んでいたが、肝心要がどのようになっただけはつきりし

ないし、従業員数にしてもし、従業員数にしてもし、も釈然としない、また、介護施設の給食調理場を清掃したとあるが、どの施設か、どういう関連で車両からいきなり調理場となったのか、私たちには分からないわけだが、新聞によると経営者の方は、事業への認識等が甘かったというふうに書かれていたが、それは、事業への認識が甘かったという問題ではないように思うが、経済建設厚生常任委員会でも議論されたとのことでしたから深く問わないが、その程度のことは、こういう場で聞く必要があるかと思

答 サイクリングコースの件は、安全対策は非常に大切なことであります。特に沈下橋と、日下の方については国道を横断するということもあるの

で、ガイドマップあるいは、案内看板等に注意喚起も含めて整備をする計画を立てているが、ハード整備については計画が

できていない。今後、指摘のあったことに十分注意しながらコースの設定を進める。

広告委託料の件は、地方創生加速化交付金事業計画をどのように取り組むかということである。

まず仁淀川ブルー観光協議会が、仁淀川を全国的にPRをする取り組みと連携した取り組みを行う。そして、仁淀川沿いにある日高村が、オムライス街道、あるいは特産であるトマトを中心に村おこしに取り組んでいるといったことで、日高村にお越しいただくという2本立てで全国にPRする計画である。この事業は、補助率100%であるのでぜひ取り組みをしたい。

特産品開発事業については、これから細部を詰めていきたく考えている。

返還金については、村で聞き取り調査等で確認をし、実績報告で補助対象となっていたものが調査を行った結果、対象外と判断された事業につい

て返還を求めるものである。

計画では、福祉車両等の洗浄事業でスタートしたが、福祉車両等の台数が少ない、また福祉分野の事業経営が厳しいといったことにより、高額な金額を払って福祉車両のまるごとクリーニングをする注文がなく、思ったように事業が進まない中で、ハウスクリーニング事業も補助対象となっており、2事業を一緒に行ったということである。それでも、思ったほど受注がなく、給食調理場の清掃作業を行ったということである。

従業員数は、営業1人と作業員4人で事業を実施する計画であったが、営業の方、あるいは作業員が途中で交代されたりで、この1年間に関わった方は8人の従業員である。

能津の福祉施設の調理場の清掃業務は、ちょうどその時期に委託をして実施するとなったらしく、

く、広く解釈すればクリーニング事業なので対象になるのではないかと聞いた甘い判断から実施をしたとのこと。この件については、実施後の9月頃になって正式に相談もあり、委託契約の変更を行い、県への事業変更届は10月になった。この清掃業務にあたった従業員は11月に辞めており、11月分だけ補助対象と認めているが、7月から10月までの期間は、変更許可をしていない業務となり、給与等についての返還をしていただいた。まだその他幾つかの詳細の部分があるが、全員協議会等で説明をさせていた

問 企画広告費のブランド化の説明を求めます。

また、これまでの移住促進事業の成果を聞く。マスコット制作費の説明を求めます。

サイクリングコースの説明があったが、自転車購入台数を聞く。

答 日高村のトマトを核とした村づくりということ

で加速化事業に挙げている。このトマトはシュガートマトとしてブランド化しており、これから色々な特産品を開発し、よりブランドとして磨きをかけるためにアドバイザー等に委託をする

とともに、村全体でどう取り組んでいくかが非常に大事であり、大きな意味でブランド化を図るということを考えている。

サイクリングコースの自転車台数は、能津地区屋形船を中心に10台、村の駅を中心に10台設置を考えている。

移住促進事業の成果については、今までに県の補助金により4棟を改修し、うち2棟に2世帯5人の方が入居している。

残り2棟については、春から配置されます地域おこし協力隊の方用として取り組みたいと考える。

答 がないが、何かの保険に加入も必要ではないか。

非常に大事なご指摘をいただいた。他の市町村で取り組みをしているところを参考に計画を立てたい。

問 現在、能津若者住宅が3棟空き室となっている

が、これらの住宅は修繕を必要と考えるが、新しく入居をいただくためにも早期の修繕を求めます。今後においても空き室ができれば、同様の取り組みを求めます。

答 ご指摘のように現在3棟が空室となっている。入居の募集が遅れご迷惑をお掛けしている。1棟については、退去修繕を行い、残りについても新年度早々に修繕をし、新たな入居者の募集を行う。

出予算総額をそれぞれ8億4千56万3千円とするもの。

◎平成27年度日高村簡易水道特別会計補正予算(第5号)

歳入歳出それぞれ684万5千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ1億6千645万9千円とするもの。

◎平成27年度日高村住宅新築資金等特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ241万1千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ2千276万3千円とするもの。

◎平成27年度日高村介護保険特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ509万5千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ6億9千733万3千円とするもの。

◎平成27年度日高村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ2千571万8千円を追加し、歳入歳

◎平成27年度日高村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ30万4

千円を減額し、歳入歳出予算総額をそれぞれ7千465万5千円とするもの。

◎平成28年度日高村一般会計予算
歳入歳出それぞれ37億7千664万円とする。

質疑

問 行財政改革を進めながら財政健全化に努めることは、どのような考えか。機構改革は、どのように進めるか。

答 光ケーブル網を使用した地域コミュニティの活性化とは、どのような構成か。

問 職員研修の内容を問う。

答 課並びに職員数を随分と減としてきた。現在特命的課題が山積しており、今後、課の編成を検討するが職員数については、事業費に占める割合をシミュレーションしながら改革を進める。大事業については、財政シミュレーションをかけた

から効率の良い行財政改革を常に進める。

光ケーブル網等を利用した地域コミュニティの活性化は、利用方法が浸透していないが、利用価値のあるものであり、ケーブル自体にも余裕があり、活用方法を検討したい。

職員研修については、人づくり広域連合会において実施される、新任研修、3年5年目研修、係長、課長補佐、課長研修、あるいは、東京で開催されるアカデミー等の税の課税、徴収といった専門的な研修、そして各市町村から1〜2人が参加しての広域の研修等に参加を呼びかける研修体制を考えている。

問 職員研修への参加率はどうか。研修後の報告はどのようなにしているか。

答 参加率は、2年・5年・10年目研修と係長、課長補佐、課長研修で27人、

また、接客研修が必要ではないか。

土木関係で建設技術公社の方に1人、税務関係で東京アカデミーに1人となっており、重複者もあるが合計29人が参加をしている。

問 地域交通のあり方の検討を継続して行うとあるが、住民から色々な意見を聞くので、より便利な運行方法の検討を求めらる。

答 定期運行の部分については、時間も限定され、空き時間には、デマンドバスとなっており、その関係で1台ではなかなか制約があり、検討をした

い。

問 デマンドバス運行について村民から、費用対効果はいかがなものかと、有効活用ができるシステムの作成ができるのではないかと指摘いただくかどうか。

答 効率的な運用をするには、1台では難しいと考えるが、定期運用の便を十分に活用していただきたい。それと空き時間に利用者があがるが、利用時間が重複する可能性がある。その場合は先に予約された方を優先するとなっており、効率化を図ることは1台では難しいと考える。

問 例えば車種の変更とか、台数を増やすという点はどうか。

答 車種変更も今後検討したい。

問 観光協会を立ち上げるとのことだが、どのような方法、どのような内容か。

答 今年度は、立ち上げに向けての検討をしたいと考えている。地域おこし協力隊と連携し、今後村の観光のあり方を検討していきたいと考えている。

問 人口増対策で結婚活動支援事業とあるが、どの

ような内容か。

答 婚活事業であり、平成27年度12月に酒蔵ホールで行い、好評であった。平成28年度は、酒蔵会に委託をし、村が協力をして実施するかたちで、2回ほど開催できればと計上している。昨年の実績を基に、反省を踏まえて開催したいと考えている。

有害鳥獣対策は、従来通りか、または多少拡充されたものか。内容を聞く。

答 新しい部分は、鳥獣被害対策実施隊報酬費を10万円計上している。

問 平成27年度粗大ゴミの処理委託回数はいくつあるか。

答 平成27年度の実績によるものか。

有害資源ごみ処理委託料の有害ごみとは、どのようなごみか。

有害鳥獣駆除報償費を319万円計上されているが平成27年度の実績によるものか。

問 平成28年度は、県・村合わせて220頭分の予算計上をしている。平成27年度実績は、202頭である。有害資源ごみは、蛍光灯・乾電池である。仁淀川中央清掃事務組合の解散により、村内業者に委託する計画をしている。

問 既存施設の有効活用と長寿命化を図るため、計画的に維持管理を行うとあるが、父原公園の看板が、さびたままだがご存じか。

答 農村管理については、平成28年度に3カ所の修繕計画をしている。ご指摘の公園については、フェンスの修繕を計画しているが、あらためて確認をする。

水道のソフト統合を行う計画である。これにより、水量不足となっていた江尻の中央簡易水道の仁淀川河川敷伏流水の取水量が、日量1千トンほど増量となり、新しい井戸を江尻に構える予算を計上している。

問 簡易水道の統合と言われたが、企業会計に移る心配はないか。

答 現在は現状で構わないが、将来的にそういったことも考えられる。

◎平成28年度日高村住宅新築資金等特別会計予算
歳入歳出予算額それぞれ
1千91万4千円とする。

◎平成28年度日高村介護保険特別会計予算
歳入歳出予算額それぞれ
6億9千280万4千円とする。

◎平成28年度日高村後期高齢者医療特別会計予算
歳入歳出予算額それぞれ
7千613万8千円とする。

その他

◎村道石田渋川線（札場橋下部工）工事の請負契約（第1回変更）について
工事に伴う支障物件の移転遅れにより、仮設道路・基礎杭工事への着手ができなかったことにより、工期内の完成が見込めないことによる工期を変更するもの。

○変更前
平成27年11月30日から
平成28年3月31日

○変更後
平成27年11月30日から
平成28年6月30日

◎相互に関連する河川工事及び道路工事により必要となる橋梁の改築に関する全体協定書（第3回変更）について
平成26年8月の台風12号以降に発生した橋台の側方移動に対する対策工を追加し、完成期限を平成29年3月31日とし、協定金額を

更するもの。

○変更後協定額
高知県負担額
4千578万3千円

日高村負担額
1億9千168万9千円

質疑

問 第1回と第2回の金額の変動、第2回の変動した理由、そしてこの協定の締結をしなければならぬ根拠規定を問う。

答 河川改修工事のみであれば負担は発生しないので、協定の必要はない。ただし当初の橋梁と同幅員の橋が架かることとなる。第1回変更については、発注による入札減による全体事業費の減額を行っている。第2回変更は、昨年の3月から平成28年3月末に工期を1年間延長したものである。

問 事前調査は何の目的で行われるか。

答 設計に必要とする土質の状況を確認するためのものである。

問 修繕工事箇所は、村道別に申し上げると能津の山ノ神線の側溝整備工事、西ノ越宇井線の舗装修繕工事、光岩2号支線の舗装工事、宮の谷岡花線の横断側溝工事、宮谷鹿兒線の横断側溝工事を予定している。

また、優先順位の決定については、限られた予算であり、緊急性の高いところより決定をしている。

問 新しい水源や新規事業の内容を聞く。

答 平成27年度内に施設の統合は行わないが、中央簡易水道と清流の里簡易

◎日高村図書館新
 築工事の請負契
 約（第1回変
 更）について
 日高村図書館新
 築工事の完成期限
 を平成28年3月25
 日から平成28年5
 月13日に変更す
 るもの。



開館を待つ新しい日高村立図書館

決まったこと

陳情・請願

◎軽度外傷性脳損傷・脳し
 んとうの周知と予防、及
 びその危険性や予後の相
 談可能な窓口などの設置
 を求める陳情

提出者 軽度外傷性脳損傷

仲間の会

代表 藤本久美子

◎TPP協定の国会批准を
 しないことを求める陳情

提出者 高知県農民組合

組合長 土居篤男

平成28年度3月議会

議員提出議案

◎緊急雇用創出臨時特例基
 金事業調査特別委員会の
 設置について

◎TPP協定の国会批准を
 しないことを求める意見
 書案

提出議員 野村重夫

提出議員 森下芳文

◎軽度外傷性脳損傷・脳し
 んとうの周知と予防、及
 びその危険性や予後の相
 談可能な窓口などの設置
 を求める意見書案

提出議員 西川龍子

閉会中の委員会活動報告

総務常任委員会



委員長 壬生豊秀

2月23日(火) 午前10時

森下(純) 総務課長より

1. 2月7日に日高村消防団初午行事の開催。
2. 2月14日に防災講演会の開催。
3. 下分字国岡の村有地に関する文筆登記について。

川村住民課長より

1. 2月29日に差し押さえ不動産(軽自動車1台)を公売する。
2. マイナンバー番号通知カードは、2月20日

現在の役場預かり数49。個人番号カードの申請者数は、1月15日現在135人。

井上教育次長より

1. 1月10日に成人式を開催。新成人50人のうち35人参加。
2. 2月13・14日日高村生涯学習フェスタを開催し、村民大学に73人、ひだかdeおきやくに80人、生涯学習フェスタに76人の参加があった。
3. 旧館解体・図書館建設による隣地の地盤変動等による家屋等への影響が出ており、工事竣工後に調査を行い対応する。

経済建設厚生

常任委員会



委員長 野村重夫

2月25日(木) 午後1時30分

松岡健康福祉課長より

1月16日に聖マリアンナ医科大学より、教授と助教を招き健康講演会を開催した。高血圧症や腎臓病、糖尿病の治療には、薬だけでなく運動や身体活動及び食生活が重要であると、分かりやすくユーモアを交え講演をいただいた。村では糖尿病になる方が増加している。高血圧、糖尿病重症化、その他生活習慣病予防対策が急務となっており、今後取り組みの強化を図る。

大川内建設課長より

高知県による戸梶川改修工事(八幡前橋)は、昨年

12月の議員全員協議会において、高知県中央西土木事務所より説明を受け、対策の設計が完了し事業についての協議があった。日高村も相応の負担が必要であると判断し、全体協定書については3月議会に提案する。

藤田産業環境課長より

地方創生加速化交付金事業は、国の平成27年度補正予算により実施されることとなった。

仁淀ブルー

観光協議会が実施する、広域版の実施計画仁淀ブルーを活用したDMO、環境地域づくりの連携事業は、総事業費6千200万円となり、そのうち、日高村の負担

金が31万4千円。そして、日高村独自の実施計画「日高まるごとイタリアンプロジェクト」総事業費4千366万円をセットで国へ申請した。



仁淀ブルー観光協議会が併設し改築予定のJR西佐川駅

**日高村振興対策
特別委員会**



委員長 岡本光男

2月23日(火) 午後3時
30分

片岡教育長より

図書館建築は、2月1日より本体工事に着手し、計画どおり進捗している。仮図書館を4月1日より休館し、3カ月で図書等の搬入を行い開館に備え、また、駐車場の整備、案内板の設置をしたい。
旧館解体等による隣地の地盤変動等による家屋等への影響が出ており、工事竣工後に再度調査を行い対応する。ご近所の皆様にご迷惑をおかけしている。

森下(輝) 検査監兼参事より

日高村振興策ふるさとづくり基金は、平成28年度が最終年度となり6千万円が高知県から入金となり、仁淀川高架橋の整備に充てる。仁淀川高架橋分の基金は総額で2億2千762万3千円となる。また他の事業については、全て完了する予定である。

藤田産業環境課長より
村の駅ひだかには、2年目を迎え、直販所の売り上げは前年を上回る好調な状況が続いている。これは、商品の多様化を図ったことが要因となっている。また、トマトの売り上げが、昨年以上に好調である。

藤田産業環境課長より

村の駅ひだかには、2年目を迎え、直販所の売り上げは前年を上回る好調な状況が続いている。これは、商品の多様化を図ったことが要因となっている。また、トマトの売り上げが、昨年以上に好調である。

大川内建設課長より
完成並びに計画している公営住宅の説明を受け、建築工事が完成した優良住宅2棟の視察と鍛冶屋住宅建築用地の造成工事完成を視察する。

大川内建設課長より

完成並びに計画している公営住宅の説明を受け、建築工事が完成した優良住宅2棟の視察と鍛冶屋住宅建築用地の造成工事完成を視察する。

「村カフェひだか」と「トマトスタンド」が施設内にあり、トマトカレーやアイスクリームを販売している

**日高村治水対策
特別委員会**



委員長 矢野孝明

2月23日(火) 午後1時
30分より

大川内建設課長より

1. 国交省による新放水路日高村(呑口側)の調査は、ほぼ終了している。

調査を実施している。工事着手は、平成28年7月頃の予定である。

3. 県による新残土処理場の設計は、概ね完了している。

造成については、造成計画の平面図と盛土計画縦断面図は、1段5mとなり最多段数は10段、高さ50mの計画になっている。

盛土の勾配は、沖名残土処理場とほぼ同様の設計になっている。処理場への搬入可能数量は、約120万m³になると説明を受けた。

山崎治水対策室長より

村道江尻妹背峠線の整備計画について、航空写真の資料により1.5車線区間、現道拡幅箇所と山を大きく迂回する新設道路の1.4km区間の説明を受けた。

なお、地権者14人からは全員同意を得ている。

2. 県の目下川床上浸水対策特別緊急事業で日下川・戸梶川の上流部における河道確保のための掘削工事は、改修護岸の詳細設計並びに岡花調整池周辺の事前

一般質問に5氏が立つ



野村重夫議員

消費税問題
—軽減税は低所得者の救済にならない—

質問 来年4月からの消費税10%への増税は、個人消費の落ち込みが

2014年4月の消費税率8%の増税直後の状況と比べても、深刻な状況にある。

家計にとってみれば3年間で5%が10%になると、政府の見解では、年間1世帯当たり18万4千円、1人当たり8万1千円の増税になる。個人消費の落ち込みは、村民の暮らしがますます厳しくなると思うが。

答弁 森下(純)総務課長 消費税増税は、村民の消費が減り、村内の事業者等にも影響がで

質問 政府は増税の時には、低所得者救済の軽減税率を導入すると言っているが、軽減税は増税になる。2014年に消費税を5%から8%に引き

上げた時に、政府は、低所得者対策として「簡素な給付措置」を実施している。日高村で給付措置を受けてきた世帯数と金額を聞く。

答弁 川村住民課長

給付措置は、平成26年度は、子育て世帯臨時特例給付金(251世帯・417人・合計額417万円)、臨時特例給付金(970世帯・417人、5千円の加算が956人)、臨時福祉給付金(1千895万円)となり給付金合計額は2千312万円。

平成27年度は、子育て世帯臨時特例給付金(291世帯・470人・合計額141万円)、臨時福祉給付金(948世帯・1千429人・合計額857万4千円)となり給付金合計額998万4千円である。

平成28年度は見込み額であるが、臨時福祉給付金(約950世帯・給付金合計額428万7千円)、年金生活者等支給臨時給付金(1人3万円・990人・合計額2千970万円)の合計額3千398万7千円とな

る。

質問 来年4月から消費税

10%になり、軽減税が実施されたら簡素な給付金措置の制度が打ち切られ、軽減税のための財源に充てられる。平成28年度と比べても3千398万7千円の負担になる。軽減税は、低所得者のためにはならないと思うが。

答弁 谷本副村長

消費税を2%上げて10%にする計画、この時軽減税率を導入し、主に食料品を8%のままおくということ、10%に上げるものを8%でおくということは、税収減になる。これを補うためには財政運営上そういう方法になる。

質問 低所得者救済と言

ながら、弱者の給付金を切り財源に充てる。軽減税が軽減にならない。収入200万円以下の場合、収入に占める増税の負担率は、6.7%に対し、年収1千500万円の人には2.4%だ。

逆進性が緩和されるといふ政府の説明は成り立たない。毎月の食料費の支出は収入が200万円以下の世帯は3万4千306円に対し、2千万円以上世帯は11万4千489円になり収入が高いほど軽減税の恩恵を受ける。

軽減と言っても税率が8%に据え置かれるだけで、外食の(食料品)運送や商品の包装などは、10%の税率になる。商品の価格が上がる。弱者に厳しい増税になる。消費税10%の実施を見送るべきだと思うが。

答弁 戸梶村長

日本の税のあり方について、社会保障を含めた国民生活の上での消費税導入ということなので、それが8%でいいのか10%でいいのか議論があると思う。状況に応じて国の方で十分議論を願いたい。地方の実情等を分析した上での判断を望む。

能津・日下間にトンネルを



森下雅文議員

質問 トンネルについては、合併時の約束であったと聞くが、実現していない。現在も村民の悲願だが、村長の認識はどうか。

答弁 戸梶村長

非常に夢のある可能性を秘めたことだが、莫大な費用を要するので、あきらめずにチャンスを狙わなければならないと思う。

道路改良と交通安全対策は

質問 安全上の問題から部分的な改良の要望がある、村道桑坂平野線の切り通しや石田渋川線の狭

質問 日下川等改修のスケジュール、親水公園パークゴルフ場の見通しはどうか。

答弁 大川内建設課長
桑坂平野線は、当面の安全対策として、来年度法肩部分の木伐採と法面カットの工事を実施する。石田渋川線は、昨年度詳細設計が完了しているが、用地調査等については着手できていない。

質問 国道33号の丸太口信号から折月の坂の上間での重大事故が多い。直ちに防止策を国交省・公安委員会等に要請すべきだ。

答弁 戸梶村長
ここの改良をすることが大きな対策と考えるが、着手できる状況にはない。交通会議の中で、公安委員会・警察に具体的に上げていきたい。

河川改修について

質問 日下川下流域の支障木(正寺岡橋より下流を望む)



日下川下流域の支障木(正寺岡橋より下流を望む)

また、日下川下流域の竹木の伐採をしてはどうか。

答弁 大川内建設課長
下流域は下流半分の詳細設計が終わり、利水・用水の検討中。上流域は掘削に必要な護岸の詳細設計を行っている。残土処理場の工事が次年度に

人口増対策について

なるので、残土の発生しない工事から実施。パークゴルフ場の整備は厳しい。下流域の支障木伐採は、現地確認した上で県に報告し、必要な対策は取っていただく。

質問 移住定住の宅地確保のスケジュールは。

答弁 森下(輝)検査監・参事
村内12カ所を事業化に向けて検討していく。平成28年度に各種調査、29年度以降各種手続き・買収・造成を行い、32年3月が分譲の開始時期で、15区画以上を考えている。

村内居住の条件を

質問 人口増や災害対応の面から、村職員の募集要領に受験資格として、「村内に居住可能な人」という項目を加えてはどうか。

答弁 戸梶村長
職員採用に制限をかけることで受験者が減るこ

オランダ型

次世代ハウス

質問 企業参入の見通しは。

答弁 藤田産業環境課長
一部上場企業や県などと昨年から数回打ち合わせを行っており、産地としても受け入れできる状況になっている。

その他の質問事項

- 日高村総合戦略。
 - 少子高齢化対策。
 - 地域おこし協力隊事業
 - 地域観光づくり連携事業。
 - 家庭教育支援。
- 他14件

とが心配されるし、高知市から近いということも村の売りにしており、悩ましい問題だ。職員が村に居住することも大事であり、採用面接等の際、そこを聞き取りながら判断する。

質問 第5回の仁淀川シンポジウムが「仁淀ブルーを後世に」というサブタイトルののもとに、本村で



森下芳文議員

仁淀ブルーを後世に

質問 第5回の仁淀川シンポジウムが「仁淀ブルーを後世に」というサブタイトルののもとに、本村で環境省に聞かないとい

答弁 戸梶村長

放射線汚染の灰を持ち込んだことが誘い水になったのではと危惧するが村長の受け止めを聞く。

質問 2月12日付高知新聞夕刊に「脅威忘れた」の見出しで報じられ、1週間後の2月19日には「放射線汚染防止法制定を」罰則を新設、札幌発の市民運動と報じられた。日高村の産廃施設に、放射線汚染の灰を持ち込んだことが誘い水になったのではと危惧するが村長の受け止めを聞く。

放射線廃棄物 一般ごみ化

質問 2月12日付高知新聞夕刊に「脅威忘れた」の見出しで報じられ、1週間後の2月19日には「放射線汚染防止法制定を」罰則を新設、札幌発の市民運動と報じられた。日高村の産廃施設に、放射線汚染の灰を持ち込んだことが誘い水になったのではと危惧するが村長の受け止めを聞く。

答弁 戸梶村長

開かれ参加したが、源流を愛媛県に発する仁淀川は、ブルーを維持するためには、高知県の取り組みだけでは守りきれないのではないかと。愛媛県との連携が必要ではないか。久万高原町に産廃施設を作る動きもくすぶっているため村長の考えを聞く。

八幡前橋新たに5千万円村負担

けないが、そのようなことはないかと考える。

質問 原因を台風で擦り付け、追加工事費まで日高村に押し付ける、県のやり方には納得できない。その額も5千万円と多額である。村長の考えを聞く。

答弁 戸梶村長

質問 原因を台風で擦り付け、追加工事費まで日高村に押し付ける、県のやり方には納得できない。その額も5千万円と多額である。村長の考えを聞く。

質問 原因を台風で擦り付け、追加工事費まで日高村に押し付ける、県のやり方には納得できない。その額も5千万円と多額である。村長の考えを聞く。

答弁 大川内建設課長

規準に基いて必要なボーリング調査を実施し、それによって設計しているという報告を受けている。

質問 事前調査が不十分なために工事を中止せざるを得なかった。設計にも施工にもミスはなかったと説明を受けたが、たどり着く原因は事前調査しかない。



工事が中断している八幡前橋

その他の質問事項

- 親水公園、手順が後先。
- 図書館工事に伴う家屋の亀裂。

- 国土調査。
- 災害対策。
- 総合治水条例。
- 他5件

子育て支援で

人口増を



西川龍子議員

質問 高知市のベッタウンとして、子育て世代に安価な宅地の提供を行い、安心して子育てできる環境整備により、人口増に転じると期待している。そこで、平成28年度の保育料はどのようになったのか、国の施策でも年収360万円未満の多子世帯の年齢制限が撤廃され、第2子は半額、第3子以降は無料。また、1人親世帯で幼稚園の場合、年収約270万円未満の住民税非課税世帯を対象に第1子、第2子共に保

育園と同様に保育料無料とし、年収360万円未満では、幼稚園、保育園共に第1子を半額、第2子以降は無料となった。

村では産廃振興策基金の補助金が終了し、新たな保育料の軽減策が必要となる。人口増を目指し子育て支援策として、保育料の軽減策を強く要望するが。

答弁 片岡教育長

平成28年度の保育料の年齢を撤廃して、第2子以降を無料にしたいと村長査定に臨んだが、一般財源から2千900万円ぐらゐの負担が出るため、再度1年間かけて検討することになった。

現在は、国の基準に対して58・8%の保育料になっており、近隣では一番安い保育料表になっている。同時入所の場合の

第2子以降の半額についても、58・8%の2分の1になるためかなり安くなる。第3子以降は無料として、国、県の制度を使っている。

低所得者に対しても、保育料の表の細分化も行い軽減となっている。今後はPRにも努める。

新生児聴覚検査の実施は

質問 高知市が県内初となる新生児聴覚検査を4月から無料で実施する。難聴は、千人に1人から2人の割合で発症、言語力やコミュニケーション能力等を取得するために補聴器等で対応することが重要とされており、無検査の場合は、2歳以降になって初めて難聴と分かるケースが多い。

この検査は、出産した産婦人科で受けられ自己負担額は、5千円から8千円で、生後数日の新生児が眠っている間に実施する「自動難性脳幹反応

検査」と呼ばれ、頭に機械を取り付けささやき声ほどの音を聞かせて、脳への信号伝達の具合を調査するもので、難聴が疑われる場合は、医大等での精密検査につなげる。日高村でも取り組むべきと思っていたところ、当初予算に組み込まれていないが、無料か。

答弁 松岡健康福祉課長

昨年5月に新生児難聴検査事業について、高知市より市町村保健衛生職員協議会に情報提供があ

り、村でも平成28年度実施に向け準備している。高知市と同じ内容とし、再検査となった場合は、県内の産科医療機関15施設に委託し、要精密検査となった場合は、高知医大の耳鼻咽喉科を紹介することになる。

初回検査と再検査は無料。精密検査は、医療保険対象となり本人負担となる。村は、4月事業開始で6月までは償還払いでの実施を予定している。



300有余年の 治水問題解消へ!!



戸梶 章議員

質問 平成25年3月付の日下川流域総合治水計画に紹介されている水害25事例については、日高村が何故300有余年間も治水問題に苦しんだのかを明らかにできる客観的なデータではないことが確認できました。今後は、日下川流域の浸水被害状況が特定可能な基礎データを取得すべきと考えるが。

答弁 大川内建設課長 現状の雨量計は、国交省の岩目地雨量観測所、役場屋上の県と村の二つで合計3カ所のデータは

取れているが、村内全域の雨量を把握するには、戸梶川の上流、日下川の上流と下流の合計3カ所の雨量データが必要だと思っている。また、村内の水位観測所は、平成26年8月現在、日下川大橋以西で4カ所、下分区域で2カ所、戸梶川2カ所の合計8カ所のデータ取得が可能。

質問 取得したこれらのデータを活かし、ある時点での浸水状況からさらにどれだけの雨がどれだけ降れば、村内がどこまで水没するのかを予測できる浸水予測システム等を村として構築するべきだと考えるが。

答弁 大川内建設課長 今後は国・県・村でこれらのシステム構築について、協力し研究を進め

たい。

日高村の 将来人口は!

質問 人口問題は、村の総合力に大きく影響されると考えるが、人口減少問題への具体的施策を問う。

答弁 戸梶村長

人口増には、安全安心な村づくりに加え村の強み弱みを理解し、今一番の弱みである治水問題は、この5年間でめどをつけ、西バイパスの延伸や高知市に近い、村内にJR駅が3駅もある地の利を活かした村づくりを心掛ける。

県全体が沈む中での人口維持は、他の市町村との競合となり、利便性や安全性、地の利などが問題となり、これらが同レベルならば福祉の日高村をさらに強化することなどで、明るく活気がある村づくりを心掛け、施策の展開状況を毎年検証することによって一定の成果を得たい。

質問 交流人口増加への改善施策を問う。

答弁 藤田産業環境課長

今回、地方創生加速化交付金として申請をしている「ひだかまるごとイタリアンプロジェクト」の事業が、交流人口の増や移住定住の促進をし、トマトを中心とした農業振興、仁淀川を中心とした観光振興、村の駅をはじめオムライス街道等村内の商工業振興、これらによる雇用の創出、また茂平マラソンや新たなサイクリングロード等の健康イベントを通して、交流人口の増加や移住・定住を促進し、村の活性化を目指すという総合的な施策であり、このプロジェクトを成功させることである。

村内のJR駅



小村神社前駅



日下駅



岡花駅

- 25 日高村防災会議
議長・森下(芳)・矢野
- 23 加茂小学校卒業証書授与式・祝賀会
西川
- 20 四万十町合併10周年記念行事・祝賀会
議長
- 18 町学校組合議会
議長・副議長
- 16 日下小学校・日高中学校教職員歓送迎会
議長・壬生
- 15 聴覚障害者養護老人ホーム静幸苑竣工式
議長
- 14 第1回日高村立図書館建設委員会
議長・西川・壬生
- 13 第1回日高村佐川町学校組合議会
議長・副議長
- 12 第1回日高村立図書館建設委員会
議長・西川・壬生
- 11 第1回日高村立図書館建設委員会
議長・西川・壬生
- 10 第1回日高村立図書館建設委員会
議長・西川・壬生
- 9 第1回日高村立図書館建設委員会
議長・西川・壬生
- 8 第1回日高村立図書館建設委員会
議長・西川・壬生
- 7 第1回日高村立図書館建設委員会
議長・西川・壬生
- 6 第1回日高村立図書館建設委員会
議長・西川・壬生
- 5 第1回日高村立図書館建設委員会
議長・西川・壬生
- 4 第1回日高村立図書館建設委員会
議長・西川・壬生
- 3 第1回日高村立図書館建設委員会
議長・西川・壬生
- 2 第1回日高村立図書館建設委員会
議長・西川・壬生
- 1 第1回日高村立図書館建設委員会
議長・西川・壬生

編集後記

さわやかな風薫る新緑の5月、議会だよりも新メンバーで出発しました。皆様にご覧いただきやすい紙面づくりに取り組んでまいります。

4月14日の発生以来、震度の激震が2回、体を感じる地震は1千3百回を超え、危険と判定された建物が7万8千棟、1万人余りが避難生活を強いられており、まだ大災害の渦中にある熊本地震が明日で1カ月を迎えようとしています。

熊本、大分県の被災者の方々にお悔やみとお見舞いを申し上げますと共に、二日も早い復旧、復興を心よりご祈念申し上げます。

私たちも過去の震災を教訓に自分の身を守る手段を整えるべきと考えています。熊本地震でも「怖いのは自分の家」とありました。犠牲者の大半は圧死や窒息死、今一度家屋の耐震診断、耐震改修を行い寝室や居住空間を見直し、最小限の生存できる空間の確保対策をお願いします。

日高村では戸梶村政が3期目を迎え、村の最重要課題の治水事業に向け再出発しました。行政・議会・住民が一体となり安心、安全の暮らしやすい日高村にしたいと念願

「日高村議会だより」は、資源保護のため再生紙を使用しています。

発行責任者
議長 尾崎 政廣

議会広報発行調査特別委員会
委員長 西川 龍子
副委員長 戸梶 章
委員 岡本 光男
委員 野村 重夫
委員 森下 芳文

次回議会は、6月9日(木)10時に開会の予定です。
お気軽に、傍聴にお越しください。

しています。